

地方創生推進交付金事業についての質問・回答

資料3

No.	事業の名称	対象項目	委員からの質問	市の回答
1	とくしま新未来産業のブランド創出とグローバル展開戦略	基本目標	雇用創出数の累積ではなく、時点ごとの実数の比較を知りたい。	年度別の数値は次のとおりです。 H27:221人、H28:201人、H29(12月時点):148人
2		事業概要	事業の概要に、「徳島県等と連携して」の記載がありますが、連携の状況を具体的に、ご教示いただきたく存じます。	県等の各取組において連絡会や協議会等に参加するなど、連携して地域産業の応用製品の開発や販路開拓に取り組む中小企業の支援を推進しています。 2月14日～16日までの日程で開催されたSMTS(スーパーマーケットトレードショー)2018(展示商談会)において、徳島県ブースとして出展しました。出展にあたっては、本市を含む6市町、徳島県及びその他専門機関で組織する『とくしま六次産業化推進連携協議会』が実施しました。各市町は、協議会の運営費用の一部として75万円を負担することにより、上記展示商談会に、各市町の枠として2ブース与えられるとともに、出展事業者の選定が委ねられました。 出展事業者の選定にあたっては、本年度が事業実施初年度であることから、協議会の設立趣旨を尊重し、本市において6次産業化を実施している事業者を選定しました。なお、出展希望団体の募集を本市ホームページにて実施いたしました。
3		とくしま地域資源活用支援事業	地域資源活用高付加価値商品の定義は？	単に地域資源を活用したものというのではなく、地域資源の文化的背景、科学的な効用、また、新たな活用等を商品のコンセプトに盛り込み、分かりやすく消費者に伝えていくことで、他の商品と差別化を図り、高い付加価値を持つ商品として流通させていく商品のことです。
4			高付加価値商品とは、具体的にどのようなものを指しているか？	たとえば、藍の新たな活用であれば、食藍や藍染めした革を使った商品、建材などが該当するものと考えております。
5			「とくしま地域資源活用支援事業」における平成29年9月に実施した展示会後の商談の進捗状況について、ご教示いただきたく存じます。(進捗、フォロー状況、商品開発スケジュール等)。	各社における商談進捗については個別回答しかねるが、一例として、阿波しじら織協同組合が展示会でコラボレーションしたブランドとは、ブランドの10周年記念として、コラボレーションマークがデザインされ、しじら織などを活用した商品は2月にロサンゼルスで商品の展示が行われております。 各社の個々の商談については、今後、事業終了後にアンケートを実施し、再度把握する予定です。

No.	事業の名称	対象項目	委員からの質問	市の回答
6	とくしま新未来産業のブランド創出とグローバル展開戦略	農商工連携等支援事業	食藍のメニュー開発とあるが、具体的にどのようなメニューなのか教えて欲しい。	別紙 レシピをご参照ください。
7			食藍が販売にいたっていない理由は？	すでに既存の商品はいくつかありますが、本事業によって開発した商品は、いまだ販売には至っていないとの意味です。
8			商品開発5商品が達成とあるが、達成とはどのような状況になっていることなのか？	商品開発とは、テストマーケティング等を実施するための試作品を開発することと考えています。小学生を対象にした事業ではありましたが、その場で提供されたレシピは、商品開発数として計上しています。
9		中小企業販路拡大支援事業	「補助金を利用して販路拡大に結び付いた事業者数」については、すべて新規の事業者という理解で良いか、ご教示いただきたく存じます。	補助金は、各年度で支出しておりますので、事業者数も年度ごとに集計を行っています。
10			補助金等を利用して販路拡大に結び付いた事業者数の減少理由をもう少し詳しく知りたい。	もともとの補助件数が減少したため、それに伴い、減少いたしました。
11			専門家活用の二極化の意味がわかりません。	専門家の活用を積極的に行っている事業者と、活用そのものに価値を感じていないため、活用しない事業者に分かれていっているという意味で二極化と表記いたしました。
12			地産地消推進事業	とくしまIPPIN店の認知度向上とあるが、どのようなデータから「判断しているのか？

No.	事業の名称	対象項目	委員からの質問	市の回答
13	賑わいコンパクトシティ形成事業	基本目標	この2つの取り組みが人口の社会増に結びつく、政策シナリオについて、今一度説明願いたい。	水都・とくしま魅力発信事業については、徳島市の魅力的な都市イメージが十分に発信されていないことにより、徳島市固有の魅力をにぎわいづくりや定住等に活かしきれていないため、本事業の推進により、徳島市の魅力的な都市イメージを市内外へ浸透させ、「選ばれる」都市になることで、街のにぎわいづくりや交流人口の増加を図り、社会増に繋げようとするものです。
14			本事業での取り組みにより、基本目標やKPIの達成が直接的に図れるのか？検討が必要ではないか。	立地適正化計画作成事業については、今後、急激な人口減少と高齢化が見込まれるなか、都市機能の集積立地と公共交通網を結びつけることで人口の拡散を防止し、生活サービスを維持するとともに持続可能な都市経営基盤を構築することが徳島市の課題となっています。そこで、徳島市は、元々、市内中心部のコンパクトな地形に魅力が集中している強みを活かし、本事業の推進により、コンパクトシティプラスネットワークのまちづくりを進め、上記の課題に対応するとともに、徳島市の魅力を活かしたまちづくりの推進を制度面から支えることで、社会増の実現に繋げようとするものです。
15			「都市ブランドの向上」「にぎわい再生」を目標として人口の社会増減数を用いているが、他にも指標として適切なものがあるのではないか。	なお、「社会増の実現」は、大きなテーマであり、本交付金事業の推進のみではなく、「地域の特性(水と光)を活かした魅力的なまちづくり」等の取組をはじめ様々な施策を総動員して、進めることが必要であると認識しており、目標(指標)に関するご意見・ご指摘は参考として承ります。
16			基本目標は計測中	総務省が、平成30年1月29日に「住民基本台帳 人口移動報告(平成29年 結果)」を公表しました。同調査によると、徳島市の平成29年の転入超過数は「128人」であり、前年から更に増加し、基本目標を達成しています。
17			KPI	KPIの「徳島市人口の県外との社会増減数」については、基本戦略と合致しているものの、徳島市と市外との社会増減数で設定した方が、徳島市の事業の評価に合致しているものと考えますが、いかがお考えでしょうか。
18		徳島市人口の県外人口との社会増減数の計算方法	「住民基本台帳人口移動報告(総務省)」により、県外からの転入者数と転出者数を確認し、県外からの転入者数から県外への転出者数を引いて、計算しています。	

No.	事業の名称	対象項目	委員からの質問	市の回答
19	賑わいコンパクトシティ形成事業	水都・とくしま魅力発信事業	WEBサイト、トクシイにより認知度が向上したとあるが、認知度向上を確認した指標はなにか？	WEBサイトについては、アクセス数、トクシイについては、SNS（フェイスブック、ツイッター）のフォロワー数を参考の指標としています。なお、近年の実績は以下のとおりです。 WEBサイトアクセス数：【H27】271,673件【H28】293,563件 フェイスブック：2074いいね（H30.2月現在） ツイッター：1439フォロワー（H30.2月現在）
20			現在の事業は現居住者の愛着、暮らしやすさの向上が主体となっている。県外者への周知はどうなっているのか？周知活動の成果を確認するのはどのようにしているのか？	県外で実施する観光キャンペーン等で、パンフレットを配布するなどの取り組みを通じて県外者への周知を図っています。また、WEBサイトや、トクシイのSNSを通じて、WEBでの情報発信に取り組んでいます。なお、WEBでの活動成果については、アクセス数や、SNSのフォロワー数で確認しています。
21			増加する外国人観光客に向けた取り組み強化の方法は？	平成29年度においては、水都徳島市の魅力を発信するためのプロモーション動画を制作して、世界的な動画共有サイトである「YouTube」上で公開し、国外での認知度向上を図りました。今後、この動画を活用したPR活動をはじめ、多言語観光情報サイトの制作など行い、外国人観光客に向けた取り組みの強化を進めていきます。
22			水都・とくしま魅力発信事業の「今後の方向性」において、次年度の取り組みとして、「外国人観光客に向けた取り組み強化」とありますが、当該取り組みの強化とKPI、基本目標の関連性について、ご教示いただきたく存じます。	近年訪日外国人観光客が4000万人を超えるなど、国外からの日本への注目が集まっており、旅行の目的地も首都圏中心から地方へ変化してきています。このような状況の中で、国外への魅力の発信などの外国人観光客への取り組みを強化し、観光誘客を図り、魅力度の向上することは、基本目標である交流人口の拡大につながると考えています。
23		立地適正化計画作成事業	立地適正化計画での計画地域の範囲は？	立地適正化計画の区域は、都市計画区域全域を基本とするため、徳島市の場合は市全域が計画区域となります。居住や都市機能を誘導する区域については、人口や既存施設の集積状況、自然災害リスクなどを勘案し、市街化区域内に定めます。

No.	事業の名称	対象項目	委員からの質問	市の回答
24	女性・若者活躍促進事業	基本目標	雇用創出数の累積ではなく時点ごとの実数の比較を知りたい。(再掲)	年度別の数値は次のとおりです。 H27:221人、H28:201人、H29(12月時点):148人
25		KPI	女性、若者に関するKPIが見られず、意図した効果がでているのかは不明である。	KPIの「創業件数」は、女性・若者とクラウドファンディング活用者を対象とした実績値(件数)、「正規雇用化者数」は、若者を対象とした実績値(人数)を挙げており、いずれも女性若者に関するKPIとなっています。記載不足で失礼しました。
26		創業促進事業	創業支援事業が14件と増加とあるが、女性、若者の件数は？	創業支援事業の女性・若者の創業者数は、14件です。クラウドファンディング活用者の創業者数は、H28年度、H29年度ともに0件です。 (H28年度:2件、H29年度:14件)
27		若年非正規労働者正規化促進事業	正規雇用化者数の平成29年度の目標増加人数は20人と考えますが、11人の実績で予算額が達成したとあります。目標又は予算額は適正であったのか、次年度以降のKPI及び予算額について、適正であるか、ご教示いただきたく存じます。	平成29年度予算要求額が、当初交付金申請額の満額確保されず、KPIの変更が国で認められないため、交付金活用による正規雇用化者数は11人で予算額に達しました。次年度以降も予算が満額確保されない場合は、KPIの達成は難しいが、公共職業安定所と連携しながら正規雇用化者数の増に努めます。
28		ワークライフバランス推進事業	ワークライフバランス推進事業の支援内容について教えてください。	ワークライフバランスに取り組む企業を、広報誌等で公表したり、優良企業として紹介するなど、情報発信面での支援を行います。
29			ワークバランス推進事業への申請企業は具体的に何を実施するのか？	ワークライフバランスの改善に向けた問題点の抽出、原因の分析等を行い、目標・取組内容を宣言したうえで、職場環境改善の制度導入を実施した企業に奨励金を支給し、導入した制度の実績があった企業については、効果を検証したうえで表彰を行います。
30		市高生次世代プロデュース事業	市高のフォーラム参加者数、異文化交流事業への参加者数は？	○市高フォーラム H29.12.13開催 (株)メディアドゥ代表藤田恭嗣を招き、フォーラムを開催 参加者 市高生(1~3年生)、保護者、教職員 約1,000人 ○異文化交流事業 徳島大学留学生とともに地域をフィールドワークし、地域行事に参加。 徳島市を紹介しよう 8月9・10日 生徒23人 美波町を探究しよう 10月7・8日 生徒16人

No.	事業の名称	対象項目	委員からの質問	市の回答
31	四国のゲートウェイを起点とした「おどる宝島★とくしま観光・文化プログラム」発信戦略	基本目標	基本目標が計測中	総務省が、平成30年1月29日に「住民基本台帳 人口移動報告(平成29年 結果)」を公表しました。 同調査によると、徳島市の平成29年の転入超過数は「128人」であり、前年から更に増加し、基本目標を達成しています。
32		取組全般	観光庁の統計データ等によると、徳島県、徳島市の宿泊者数は全国と比較して少ないと考えます。日帰りの観光ではなく、宿泊し、2日間程度楽しめる施策は実施されていますでしょうか、ご教示いただきたく存じます。	本市では滞在型の観光地づくりを推進するため、県や周辺市町村と連携しながら、広域的な範囲にある観光資源の磨き上げと情報発信及び圏域内の複数の観光地を組み合わせたツアー開発などによる滞在時間の延長に取り組んでおり、宿泊者数は着実に増加しております。
33		インバウンド対応事業	乗船客は本市の物産を購入したり、観光したりする時間はあるのか。	客船入港時には埠頭上において本市の物産の展示販売等を実施しています。なお、入港した客船は一定時間(半日程度)停泊し、乗船客は下船してオプションツアーに参加したり、個人的な観光地めぐりや買い物などを楽しんでいただいております。
34		DMO設立事業	設立されるDMOについて、詳しく知りたい。	DMOについては、徳島東部地域の16自治体(15市町村及び徳島県)と、民間企業が一体となり、地域の「稼ぐ力」を引き出す観光地域づくりを推進する法人として、平成30年4月に設立を予定しております。 名称は、「徳島東部地域DMO」(仮称)とし、事業の実施体制は、専門人材(プロパー)や、自治体・民間企業からの出向者を中心として、①マーケティング②情報発信の強化③誘客・送客・流通促進④観光地域づくりを柱に事業を展開していきます。
35			体験型旅行商品の開発について、DMO設立しか書かれていないが、旅行商品の検討がなされているのか不明。具体的な取り組みの記述が必要。DMOの計画で企画されている体験型旅行商品は？	DMOの事業計画は完成しており、設立後実施計画の中で企画してまいります。 体験型旅行商品の開発等については、DMO設立後、様々な情報を収集・分析の上、マーケティング結果に基づき、明確なターゲットに向けた商品開発を具体的に実施していきます。
36	参考	取組全般	全ての事業について、取り組み別の予算額・支出額を明らかにしてください。	別紙 事業費一覧をご参照ください。
37		関連事業	LEDアートフェスティバルについて、前回意見のあった全国メディアでの扱いについて、実績もしくは予定があるなら教えてほしい。	県内のみならず、県外及び国外からの来場者を増やすため、関東圏や関西圏に対して、また、香港・台湾向けに大手旅行雑誌に告知広告を行ないました。

地方創生推進交付金事業に係る事業費一覧

①とくしま新未来産業のブランド創出とグローバル展開戦略

事業名	所管所属	予算額	執行見込額
とくしま地域資源活用支援事業	経済政策課	12,663	8,342
農商工連携等支援事業	農林水産課	3,570	1,850
中小企業販路拡大支援事業	経済政策課	17,926	10,512
とくしま食材ブランド化推進事業	農林水産課	5,823	5,360
地産地消推進事業	農林水産課	4,524	4,524
合計		44,506	30,588

②賑わいコンパクトシティ形成事業

事業名	所管所属	予算額	執行見込額
水都・とくしま魅力発信事業(一部)	観光課	23,726	20,021
立地適正化計画策定事業(一部)	まちづくり推進課	15,000	12,441
合計		38,726	32,462

③女性・若者活躍促進事業

事業名	所管所属	予算額	執行見込額
市高生次世代プロデュース事業(一部)	市立高校	2,047	1,597
創業促進事業費(一部[女性・若者部分])	経済政策課	4,500	4,537
若年非正規労働者正規化促進事業費	経済政策課	2,000	1,865
ワークライフバランス推進事業(一部)	経済政策課	150	0
合計		8,697	7,999

④四国のゲートウェイを起点とした「おどる宝島★とくしま観光・文化プログラム」発進戦略

事業名	所管所属	予算額	執行見込額
DMO設立事業	観光課	6,000	6,000
インバウンド対応事業	観光課	500	305
イベント民泊推進事業	観光課	1,000	1,000
合計		7,500	7,305

4人分

		おにぎり	
《おかか×藍》			
米	1.5 合	《おかか×藍》《わかめ×藍》	
鰹節	5 g	1. 米以外の材料をあらかじめ混ぜ合わせておく	
藍(乾燥葉)	5 g	2. 炊きあがったご飯に具材を混ぜ合わせる	
ごま	6 g	3. 好みの大きさのおにぎりにする	
ごま油	1 大さじ		
醤油	1 大さじ		
《わかめ×藍》			
米	1.5 合	《漬物》	
乾燥わかめ	5 g	1. ズッキーニのヘタを落とし、縦半分に切り、スプーン等で、種を取り除く	
藍	1 g	2. 塩もみを行い、サッと水で流しペーパータオル等で水分をふき取る	
塩	2 g	3. 濡れ布巾で表面をふいた昆布でズッキーニを挟んで半日程度冷蔵庫で置いておく	
《漬物》		4. 適当な大きさに切って盛り付ける	
ズッキーニ	1/2 本		
昆布	1/2 枚		
塩	適量		

		サラダ	
ズッキーニ	0.5 本	《藍オイル》	
トマト	1 ケ	1. 藍の葉を水でよく洗い、水気を十分にふき取る	
きゅうり	0.5 本	2. 鍋にオリーブオイル、藍の葉を入れ約60℃にして香り、エキスを抽出する	
レタス	1 ケ	3. 半日程度置き、布で漉す	
(もしくはルッコラ等)		サラダを作る	
《藍オイル》		1. 野菜を食べやすい大きさに切る	
藍(生葉)	10 枚	2. 藍オイルに白ワインビネガー、塩、コショウで味を調味してドレッシングを作る	
オリーブオイル	110 cc	3. 切った野菜にドレッシングをかける	
白ワインビネガー	110 cc		
塩			
コショウ			

		から揚げ	
鶏肉(もも肉)	400 g	1. 鶏肉を食べやすい大きさに切る	
生姜	2.5 g	2. 調味料を合わせ、鶏肉に揉みこみ最後に片栗粉を入れ混ぜ合わせる。	
ニンニク	2.5 g	3. 鶏肉を揚げ仕上げる。	
藍(乾燥葉)	1 g		
酒	20 cc		
味醂	20 cc		
醤油	20 cc		
ブラックペッパー	1 g		
片栗粉			
天ぷら油	適量		

スープ

水	400 cc
マギーブイヨン	
ズッキーニ	0.5 本
シイタケ	1 ケ
ジャガイモ	1 ケ
ナス	0.5 本
トマト	1 ケ
藍(乾燥葉)	1 g
塩	
コショウ	

1. 野菜を1cm角に切る
2. 鍋で切った野菜をしんなりするまで炒めて、水、ブイヨンを加えて煮込む
3. アクを取り除き、藍を加える
4. 塩コショウで調味する

洋風炒め

藍(生葉)	20
もやし	40
エンサイ(空心菜)	50
卵	1
トマト	1
塩	
コショウ	

1. エンサイ、トマトを一口大にカットする
2. フライパンに油を少し多めに入れ、溶き卵を入れフワツとかき混ぜ、半熟になったら取り出す
3. フライパンに油をしき、空心菜、もやしを入れしんなりするまで炒め、トマト、卵を加えたら塩コショウで調味し、仕上げる